

## (仮称) 厚田小中学校設立準備委員会 第4回会議【質疑要旨】

- ・日時 平成29年 1月18日(水) 18:30~20:50
- ・会場 厚田保健センター 1階多目的ホール
- ・出席者 委員13名(渡邊委員が欠席)
  - ・保護者: 小笠原英史(厚田小PTA会長)、富樫大幸(望来小PTA会長)、早坂伊佐雄(厚田中PTA副会長)、阿部 保(聚富小中PTA会長)、本郷亜希子(厚田保育園父母の会会長)
  - ・学校関係者: 昇 洋一(厚田小教頭)、田中 亮(望来小教頭)、三浦崇史(厚田中校長)、風間敏明(聚富小中校長)
  - ・学校支援推進員: 渡部賢二(望来小)、小林晴美(厚田中)
  - ・厚田区地域協議会: 佐藤勝彦(同会長)
  - ・学識経験者: 前田賢次(北海道教育大学札幌校准教授・教育方法学)
  - ・運営協力者(3名): 松原謙二(厚田中教頭)、高橋公平(厚田小教諭)、庄司圭佑(望来小教諭)

### 事務局〔市教委〕

佐々木生涯学習部長、安崎総務企画課長、菅原学校教育課長、田村厚田生涯学習課長、松永総務企画課主幹、西山厚田生涯学習課主査、石黒学校教育主事

### その他〔厚田支所〕

相原地域振興課主幹

※傍聴者3名

### 【開会あいさつ(佐藤委員長)】

### 【(仮称)厚田小中学校整備基本計画 原案①について】

- ・配布資料に基づき説明(松永主幹)
- ・第6章、第7章を詳細に説明

### 【質疑】

#### (A委員)

- ・多目的教室のセキュリティ、学校のセキュリティはどうなっているのか。
  - 多目的教室は学校の中の教室の一つであり、一般の方が使う場合もある。
  - 誰でも自由に入ってくるということではなく、例えば学校で地域の方々と行事をする場合に使える教室と考えている。セキュリティ対策は学校の玄関で行うことになる。

(A委員)

- ・開放玄関は常に開放されているわけではないのか。

→ 開放玄関というのは、体育館の一般開放などで使う玄関のことで、通常は施錠している。

(A委員)

- ・職員の更衣室は20番に書いてあるが、生徒の更衣室は考えていないのか。

→ 生徒の更衣室は現在も体育館に設置してあり、体育館の改修後も継続して設置される。

(B委員)

- ・26番と27番の玄関について、児童玄関が南側、職員玄関が北側となっているが、分ける必要はあるのか。

→ 現在は職員の駐車場が取り付け道路から入ったところに置かれているが、PTAの皆さんが駐車するスペースがないので、校舎の北側に駐車場を整備する予定である。

(B委員)

- ・29のトイレだが、和式トイレは必要なのか。

→ 皮膚の接触を嫌うお子さんもいるので、まったく設置しないというのはどうかと考えている。具体的な数は今後検討していく。

(B委員)

- ・セキュリティについて質問する。他の中学校では、職員玄関でチャイムを鳴らすと先生が出てくるが、そういうふうになるのか。

→ 基本的には新しく学校を建てる場合は、オートロックが常識になっているので、そのようにしていく。

(A委員)

- ・保育園ができることになった場合は、一緒の建物なのか別の建物なのか。

→ 建物に併設ということになるので、玄関は別になる。

(A委員)

- ・図書館も別の玄関になるのか。

→ 玄関は別になる。

(C委員)

- ・51番のグラウンドの広さは今の中学校のグラウンドと同じなのか。

→ 今の中学校の敷地で今の位置に校舎を建てるので、グラウンドの広さは今と変わらない。

(C委員)

- ・保育園も併設されるということなので、保育園の子供たちが安全に遊べるスペースをぜひ確保していただきたい。
- ・グラウンドや体育館は時間割をやりくりして、重ならないようにしていくとは思いますが、学校は急遽予定が変わることがあるので、体育に使えるフリースペースがあればいいと思う。

→ 多目的教室は、球技はどうかと思うが、マット運動などはできるので、フリースペースのように活用することを考えたい。

(C委員)

- ・46ページに記載されているように、放課後児童クラブも併設されるということか。

→ これはまだ決定ではない。放課後児童クラブは保護者の就労などで、適切な保護を受けられない子どもが対象となるので、そういう子どもがいるかということ进行调查して、今後検討していきたい。

(佐藤委員長)

- ・他地域で、幼稚園と学校を併設した例があるが、一番気を使ったのは、小さい子どもたちの遊ぶスペースを確保することだった。このことを考えていただきたい。

(D委員)

- ・新校舎は今の校舎を残してグラウンドなどに建設して、その後移るというイメージを持っていた。そうでないとすると、期間もかかるので、検討した過程を教えてください。

→ 当初、今の校舎の北側に建設することを考えていた。しかし、傾斜地に立てることになるので、建設費が非常に高くなる。また、プレハブ校舎を建てると億単位に及ぶ費用がかかるということなので、申し訳ないが、厚田小の空いている特別教室に1年半の間、動いていただくことをお願いしたい。理由は費用の問題である。

(D委員)

- ・8月という時期は中途半端な気がするがどうか。

→ 引越しの期間があるので春休みでは短いと考えた。また、先生の異動もあるので、長期休業とな

る夏休み期間に引越しを行うことを示させていただいた。

(佐藤委員長)

- ・ 2分の1の補助金を文科省からもらうが、その決定は7月になる。その前から移動して、万一、不採択になったときにまずいので、8月に設定したのではないかと推測するがいかがか。

→ そうです。

→ 補足させていただくと、体育館は改修工事をして残すので、校舎の位置が大幅に変わると、接続や体育館の強度に問題が生ずる。給食センターとの接続でも同様のことを考えなくてはならない。

(A委員)

- ・ 何階建てを考えているのか。

→ 2階建てを想定している。総2階になるかどうかは検討中である。

(E委員)

- ・ 保育園がどこにできるかは考えているのか。

→ 今後検討していくこととなる。

(E委員)

- ・ 南側を生徒が歩くことになるようだが、保育園の子供が北側を歩くことはないか。

→ 送り迎えの際は、車が入る北側が便利になると思う。両側に出入り口を考えなければならないと考えている。

(E委員)

- ・ 保育園の園庭と学校のグラウンドは一緒なのか。

→ 基本的にそう考えている。学校との棲み分けをどうするかは未定だが、使用する時間帯の調整などについて考えていかななくてはならない。

(F委員)

- ・ 実現できるかどうかは別として、イメージを共有できるような仮定の絵というようなものを提示してもらうことはできないか。

→ 今、絵を出すことは難しい。市教委としては、来年度に業者へ設計を委託するにあたって盛り込んでもらわなければならない要素を出していくという趣旨で、このような形で記載している。来

年度、設計が始まってから、絵を見ていただいて検討していただくことになると思う。

(G委員)

- ・ 中学校が小学校に1年半移転することになるという説明を受けた。このことを教職員や保護者に説明するにあたって、文科からの補助金の関係等があるので、8月からでなければならないととらえていいのか。
- 国からの補助金採択時期のことが出ているがその通りである。また、春休み期間に整備と施工をすることは難しいと判断している。
- 学校として年度当初の移動について希望があれば、制約条件を解決する方法や余地がないかなどについて、学校と検討する機会を設けたい。

(事務局からの提案)

- ・ 今日お示した計画案の修正に係るスケジュールについて提案したい。
- ・ 再度委員の皆さんに集まって意見をいただくことになる、新年度の基本・実施設計に遅れが出る可能性がある、今日いただいた以外のご意見等は、電話やFAXで市教委に申し出いただき、それらを盛り込んで次回の案として提案させていただきたい。

(佐藤委員長)

- ・ それでは、今日から2週間を目途に、他の質問や意見を担当者に寄せていただきたい。

(D委員)

- ・ 閉校式のスケジュールについてはどう考えているのか。
- 厚田小での仮住まいとなって、中学校の校舎建物はなくなっても、厚田中は平成32年3月まで存続するので、市教委ではその時点で閉校式を行うものと考えていた。閉校の考え方について、具体的に学校と協議させていただきたいと思う。

(C委員)

- ・ 学校プールはどうなっていくのか。
- 新しい学校プールは、厚田中グラウンド南側の旧教員住宅を解体して、平成29年度中に建設することで進めている。

(A委員)

- ・ 設立準備委員会便りは回覧で回っているが、ここで話している内容がなかなか伝わっていないという意見がある。こうした資料を回すことはできないのか。
- 回覧で回すことはできる。これから修正することを前提とした内容については、誤解を招かない

ような配慮をして、会議資料について情報公開をしていくようにしたい。

(佐藤委員長)

- ・以上で、学校整備基本計画の検討を終わります。

(佐藤委員長)

- ・その他について、いかがでしょうか。

(A委員)

- ・スクールバスについて回答をいただいたので質問したい。

→ スクールバスは、学校への通学を基本にしながら、いただいたご要望にできるだけの便宜を図るように考え回答させていただいた。

(A委員)

- ・回答ありがとうございました。
- ・長期休業中などの部活動については、学習会のあとで今のような形をとっていただければ問題はないと考える。土日の部活動については、原則（運行）できないという回答だったが、中央バスに乗るしかなくなってくるので、運賃補助を考えてほしい。
- ・大会参加ということについては、予算を拡大していただき、中体連以外のいろんな大会についてもスクールバスは不可欠ということで、検討していただきたい。
- ・スポーツ少年団のバス運行については、この回答ですばらしいと思う。
- ・スクールバスの運行時間について、部活動との調整が必要かと思うが、乗れるようにしていただきたい。
- ・保育園児の送迎について回答をいただいた。これについて、保護者が添乗した形であればいいとなっているが、賛成しかねる。保護者一人で6人の他の子を見るというのは、責任を一人の保護者に押し付けることではないか。問題が出てくると思う。
- ・保育士の勤務形態を前後させて乗せることはできるのでないかと考える。今、2歳から入園できることになっているようだが、これならできると思う。
- ・PTA 活動との関係では、非常にいい回答だと思う。現段階で、医療バスに乗れるというのはいいことだと思うが、中央バスに乗るときは、運賃補助をしてほしい。
- ・最終的にコミュニティスクールということになれば、スクールバスにこだわらず、コミュニティバスを考えるべきだと思う。
- ・病気のときの対応は、この原則でいいと思う。

→ 土日の部活動については、石狩市全体のルールに基づいているので、もしそれを変えるとしたら、市全体のルールを変えることになる。中央バスに乗るための補助も、市全体のバランスの中で考えなくてはならない問題である。厚田に新しい学校ができるから、そこだけ変えるということにはならない。長いスパンでの検討をさせていただきたい。

→ スポーツ少年団の問題については、スポーツ少年団の内部で練習時間をどうするかという話し合いをしていただければよいのではないかと考える。

- 保育園の話で保護者が添乗した場合の帰りについては、お手紙で回答したとおり、帰宅後の回送便に乗れる場合がある場合は乗っていただいてもかまわない。当面は望来に車庫があるので、その間は乗っていただいてもかまわない。

(H委員)

- ・保育園児の添乗について、園児一人に対して保護者一人なのか、複数の園児を看ていいのかを聞きたい。
- 一対一とは考えていない。年齢や子供の状況もあるが、保護者ないしは地域の方1名で複数の園児を看てもかまわない。
- 質問にあった保育士による添乗については非常に難しい。時間をずらすことの問題点などで子供を見ることが手薄になるからだ。

(A委員)

- ・添乗の予算化はできないのか。
- 保育園の原則は保護者の送迎であり、石狩市全体の原則を考えると、厚田だけに市が添乗員を雇用する制度を作ることは難しい。保護者の方、地域の方をお願いすることにしていきたい。

(A委員)

- ・保育士を増やせばできるのではないか。
- 園児が増えて、保育士の定数が増えることはあるが、添乗のために保育士の数を増やすということとはできない。
- ご要望の趣旨はわかったので、それに近づけるような方法があるのかないのかを含めて考えていきたい。
- PTA 活動のバスの補助は難しい。自力で参加する方もいるわけなので、そういう方とのバランスを考えると、バス利用の方だけに補助するということは難しい。
- 学芸会などの学校行事に地域の方が参加される場合は、保護者の方と同じなので、時間が合うのであれば、医療バスも含めてスクールバスをご利用いただくことはできる。
- 急病や怪我の場合は、柔軟な対応をさせていただく。
- 今後は、保育園バスの話をもう少しということになると思う。過去の経緯も調べて検討したい。

(佐藤委員長)

- ・基本的な原則というものは大切。
- ・子供の数が何人になったら、学級を何学級にするかというようなことである。
- ・厚田村の時代と石狩市になってからは明らかに違う。
- ・どこまでできるかは、工夫の問題。制度を変えるというのではなく、地域の住民がどこまで働きかけて、どこまで自分たちでできるかという地域の新しい原則になる。
- ・税金がかかる問題では、平等の原則を考えなければならない。田舎だからどこだからどうしようというのは裁量の問題になる。原則や制度と我々の工夫を考え合わせ、自分たちでどこまでできるかを、

平成 32 年度までに考えていくことで、地域が協力し協働的になっていくものと思う。そういうことも含めて、これは他人事ではなくて考えるべき課題だと思う。

(A 委員)

・石狩市にスクールバスの運行規定があるはずだが、見つけることができなかった。ぜひ見てみたい。

→ 運行規定はあるので、郵便でお送りする。(H29.1.20 送付済み)

(事務局より)

・次回は、2月23日(木)の18時30分より開催することについて諮り、了承確認した。

会議録署名

上記会議の経過を記録し、その相違ないことを証するため、ここに署名します。

平成 29 年 2 月 23 日

(仮称) 厚田小中学校設立準備委員会

委員長 佐藤 勝彦